

公共施設再編における市民合意形成手法の開発

芝浦工業大学提供
作成日 2016年2月24日
更新日 2016年 月 日



研究者氏名 しむら ひであき 志村 秀明	所属機関 芝浦工業大学 工学部建築学科	関連キーワード(複数可) 各種建物、建築計画、公共施設再編、 デザインゲーム、ワークショップ まちづくり
主な研究テーマ ・高度成長期に建設された公共施設の再編が社会的な課題となっている。本研究では、まちづくりにおける市民参加の研究蓄積をふまえつつ、現存する公共施設の再編を対象とした、建築レベルでの計画・設計を支援するための市民合意形成手法を開発する。		主な採択課題 ・若手研究(A)平成15～17年度(配分総額:9,490千円) 課題名「市民主体の市街地改善まちづくりを支援するシミュレーション・ゲーミングシステムの開発」 ・若手研究(B)平成13～14年度(配分総額:2,100千円) 課題名「NPOとの連携に基づく住民・地権者による自立的な市街地更新のための支援技術開発」

① 科研費による研究成果

- ・高度成長期に建設された公共施設が更新時期を迎えるが、縮減の時代、自治体の財政難などの背景から、単なる建替や新設ではなく、使い手が主体となった「再編」が社会的課題となっている。
- ・公共施設の建築計画や新設時の市民参加、まちづくりの市民参加手法は研究・確立されているが、既設の公共施設再編・複合化、建築レベル計画・設計における市民参加手法は確立されていない。
- ・さいたま市は全国でも先導的に「公共施設マネジメント計画」を策定した(平成24年)。研究代表者は市民参加による「まちづくりデザインゲーム」の研究・実践を蓄積しており、上記計画にも関与してきた。
- ・本研究は、これらの背景・契機を捉え、自治体・NPO・大学の協働のもと、社会実験を実施しながら、公共施設再編に向けた合意形成手法を、「公共施設再編デザインゲーム」として開発するものである。
- ・平成27年度は、市内公共施設を対象に、模型等を使用したデザインゲームを開発し、小学校の再編・複合化の設計を実践した。また、その課程で市民・自治体連携方法の確立を行った。平成28～29年度は、同ゲームの開発継続、各種調査による検証、情報発信拡大などを行っていく。



ワークショップの様子

② 当初予想していなかった意外な展開

- ・当初予想していた地元住民だけでなく、メディア取材や他自治体の視察など、多方面からの注目を集めている。また、それが公共施設再編に対する市民の理解を促進している。
- ・行政による基本計画策定のタイミングであり、学生が、住民参加による検討と専門家による検討、双方の検討プロセスを経験することで、貴重な実践的教育効果を得られた。

・参考URL: さいたま市公共施設マネジメント・ワークショップ(平成27年度)
<http://www.city.saitama.jp/006/007/014/014/005/workshop27.html>



小学校と複合施設の計画模型

③ 今後期待される波及効果、社会への還元など

公共施設の老朽化は全国的な問題である。本研究の成果を集大成すると共に、市内のNPOと協働しながら「公共施設再編の進め方手引き」の改訂を行うことにより、各自治体に対して、経済的かつ市民の利用を重視した公共施設再編の方法論を、学術・実務の双方から提供することができる。